

日本のうたごえ祭典・おおさか 女性実行委員会ニュース

〒536-0014 大阪市城東区鳴野西 5-17-16

大阪音楽センター会館内 TEL06-6962-5482

事務局:北飯史子(きたいふみこ)Tel0745-73-7213

**9/22 (日) 電通祭典の「花はさく」「風よふるさとよ」の演奏は、
100人の大合唱になりました!!心をこめてうたいました。**



当日はロビーもリハーサル室も祭典Tシャツを着た女性であふれました。400人キャパのサンスクエア堺の会場で、100人が舞台上に立ったのですから圧巻だったと思います。

演奏は、原発事故にあった福島の人達の気持ちに寄りそって、ナイーブな気持ちを表現し、“すべての人がすべての花がすべての命が輝く風よおこれ”の高まる気持ちを会場の皆さんに伝えられたと感じました。

女性実行委員会の呼びかけに答えて、堺のサークルを中心に大阪市内はもちろん熊取や北部地域、奈良からも参加下さり、演奏を成功させることが出来ました。ありがとうございました。電通祭典実行委員会からもお礼の言葉を頂きました。

10/20 (日) は「原発ゼロの会・大阪」発足2周年のつどい

**オープニングで大音楽会の“被災地に心を寄せて”の3曲をうたいます!
多数の参加で演奏を成功させましょう!!**

うたごえ祭典直前の演奏です。私たちの意気込みが伝わり、中身の伝わる演奏が求められます。女性の皆さん、反響板のない舞台上生の声の一つになって大きく広がる人数が必要です。100人以上の演奏をめざして成功させましょう!!<団体ごとの参加人数を至急教えてください。>

「原発ゼロの会・大阪」発足2周年のつどい

日時: 10月20日(日) 第1部 反原発フェスティバル 13:00~14:20

場所: エルおおさか大ホール 12:50 舞台下手ソデ集合

うたごえのステージ: オープニング演奏3曲 13:00~13:10

① 男声合唱「おらぁこごがよい」② 女声合唱「風よふるさとよ」③ 混声合唱「花はさく」

服装: 祭典Tシャツ、白またはベージュのパンツかスカート、靴自由

参加費: 出演者の子チケット代は、大阪のうたごえ協議会から出してもらえることになりました。

電通祭典参加費などたびたびの出費で大変だろうとの配慮からです。

少ない人数では反響板がないのでたいへんです。多数の参加を何卒お願いします。

11/2（土）大音楽会当日の練習場所が大阪城ホール内のサブホールに変更！

（震災復興ステージニュースにステージの流れを書いていますので合わせてご覧ください。）

●舞台は平場とヒナ段に 500 人、舞台後ろの 2 階 J K L のスタンド席に 860 人立ってます。スタンド席は薄幕が張られていて、歌う時に下がります。本番の際、舞台になるスタンド席へは見ておられる席から各自静かに移動します。【スタンド席には風と花の 2 曲をうたう人が前に立ち、花だけの人はその後ろに立ち、風の時は座っておきます。男声合唱は人数が 120 人ぐらいですので全員舞台です。また、東北の人と子どもは全員舞台です。】

●舞台リハーサル

集合：舞台の人→地下サブホールに 10 時 50 分、スタンド席の人→1 階北ホールに 10 時 50 分
リハーサル時間：11 時 18 分～11 時 38 分（男声、女性、花はさく）

●練習について

場所：地下サブホール

時間：花はさく 12 時 40 分～13 時 10 分、風よふるさとよ 13 時 10 分～13 時 40 分

男声合唱の練習中（12：15～12：40）はサブホール手前の荷捌き場で待機して下さい。

●本番について

移動のきっかけ：舞台の人→3 合唱団合同演奏が終わったら地下サブホールに移動してください。

スタンド席の人→「人間のうた」が終わったら舞台になるスタンド席に移動して下さい。

本番時間は 20 時 26 分頃ですが、あくまで予定ですので、移動のきっかけを守って下さい。

●舞台の立ち位置を決めるステージシートは出演登録締め切り後、出来るだけ早く作成します。

★歌い方、情景をしっかり頭に入れましょう。指揮に集中しましょう。（以下再々掲載）

「風よふるさとよ」を歌うにあたって

1 番は故郷を吹き抜ける四季折々の風を思い、明るく爽やかに歌ってください。

2 番は一転して震災・津波による原発事故と放射能汚染の恐怖を表現する為、原曲の音符の長さを変えています。言葉の頭を深く響かせ短く切って話すように歌ってください。

“あのひから～”からは故郷、地域の人々と遠く離れ離れになった寂しさ、故郷の香りを運んだ風さえも放射能を運ぶ恐ろしい風となる虚しさを p～m p で歌ってください。

“かぜよつたえてよ～”からはより強く、深く故郷への愛着を f まで高めて歌ってください。フレーズの最後の“あいしていますと”は話すように息を混ぜるような表現で歌ってください。

（※時間の都合で 1 回目の“かぜよおしえてよ～”を省きます。）

間奏後の 3 番はいまだに元通りに戻らない愛してやまない故郷の情景、人々の温かさをしみじみと柔らかな表現で歌ってください。

“すべての～”からは被災したフクシマの人々の願い（被災前の豊かな故郷を取り戻したい、原発再稼働をさせてはならない）を大きな世論となる風に託して日本中のみならず世界中に吹き渡らせようとする大きなうねりで表現してください。

くり返しの部分はさらに強い願いを m p で子音をしっかり響かせ、心の奥からの願いを伝え、この曲の唯一の f f に向けて徐々に盛り上げ会場の隅々まで届けるよう歌ってください。

合唱の最後の音符は非常に長いですが f f のまま音量、気持ちを落とさないでむしろより遠くへ届けるように歌い切ってください。

合唱は音符を切った所で終わりではなく、伴奏の最後の音が会場に染み渡り消え切るまで思いを胸に気持ちを届けてください。

全国の女性の皆さんの熱い熱い思いを大阪城ホールに響かせましょう。

2013 年 2 月 24 日

山本恵造